

役割給をベースとした賃金管理の導入セミナー

多くの企業で採用されてきた職能給的思考方（職能資格等級制、職能給、能力考課等から構成）への見直しが進行していますが、極端な成果主義への転換やその有効性に対する疑問もあり、最近では「役割」をベースとした賃金管理を志向するケースが出てきています。その特質は職能給と成果給の中間的性格では決してなく、今後の賃金管理の有効条件（職責反映の労働対価賃金の実現、定昇・人件費抑制、累積獲得部分の見直し、変更・変動、管理職活性化）等が含まれ、人事・賃金管理を漸進的に確実に組立直すヒントが多く含まれています。

本セミナーでは理論と実務をベースに、役割給及びその関連領域をコンパクトに纏め、役割給的世界を導入したり、賃金管理をレベルアップする企業を対象とします。

日 時

平成14年9月10日（火） 13：30～17：00

会 場

（株）日本総合研究所 東京本社1Fセミナールーム

（東京都千代田区一番町16番：半蔵門線半蔵門駅より3分・有楽町線麹町より7分）

受講料

1名につき10,000円、消費税500円 計10,500円
資料代含む。2名以上参加の場合は、1名につき9450円（消費税450円含）

講 師

（株）日本総合研究所 研究事業本部 人事戦略クラスター
主任コンサルタント 石川 洋一

セミナープログラム

- 1：役割給の特質とは
 - （1）職能主義的人事管理（職能資格制・職能給・能力考課）との比較
 - （2）役割主義的賃金管理のメリット、デメリット
- 2：役割グレード制の構築方法
 - （1）役割評価のポイント
 - （2）社内調査の進め方の原則
- 3：役割給の設計方法
 - （1）既存賃金からの組み替え
 - （2）職能給との併存のあり方
 - （3）役割給の設計
- 4：役割給と考課・目標管理の関係のあり方
- 5：導入に当たっての留意点（まとめ）

